

## 履修規程別表

大阪保健医療大学保健医療学部授業科目履修認定方法および学習の評価・単位認定・進級・卒業に関する規程 第9条

大阪保健医療大学言語聴覚専攻科授業科目履修認定方法および学習の評価・単位認定・進級・卒業に関する規程 第9条

(別 表 1)

弔事	配偶者・一親等の親族
	二親等の血族・一親等の姻族
	三親等の血族・二親等の姻族
慶事	本人の結婚
	二親等以上の親族の結婚
	配偶者の出産

注) 遠隔地の場合は、往復の時間を考慮し、日数を加算できる。

## 履修規程別表

大阪保健医療大学保健医療学部授業科目履修認定方法および学習の評価・単位認定・進級・卒業に関する規程 第9条

大阪保健医療大学言語聴覚専攻科授業科目履修認定方法および学習の評価・単位認定・進級・卒業に関する規程 第9条

(別 表 2)

学校保健安全法施行規則第18条、第19条より（昭和33年6月施行、令和2年2月最終改正）

類 型	感染症名等	出席停止期間の基準
第 1 種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る。）及び特定鳥インフルエンザ（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律：平成十年法律第百十四号 第六条第三項第六号に規定する特定鳥インフルエンザをいう）、新型インフルエンザ等感染症、新型コロナウイルス感染症、指定感染症及び新感染症は第一種の感染症とみなす	治癒するまで
第 2 種	インフルエンザ（特定鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く）	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
	麻疹（はしか）	解熱した後3日を経過するまで
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下線の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
	風疹（3日ばしか）	発疹が消失するまで
	水痘（みずぼうそう）	すべての発疹が痂皮化するまで
	咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状が消退した後2日を経過するまで
第 3 種	結核 髄膜炎菌性髄膜炎	病状により医師において感染のおそれがないと認めるまで
	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症（溶連菌感染症、マイコプラズマ肺炎、感染性胃腸炎、手足口病、伝染性紅斑、ヘルパンギーナ等）	病状により医師において感染のおそれがないと認めるまで

## 成績評価基準および GPA について

### 【成績評価基準】

1. 履修した授業科目の成績評価は、原則として保健医療学部は、科目試験（筆記試験・論文・レポート・その他）により行い、言語聴覚専攻科は、定期試験（筆記試験）及び臨時試験（レポート・その他）により行います。

※保健医療学研究科は別に定める。

2. 成績評価基準、および成績証明書等の成績の表記は、下表のとおりです。

### 成績評価基準と GPA

判定	評価点	成績証明書表記	GP (Grade Point)		成績評価内容
合格	90 - 100 点	S	S	4	到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果をおさめている
	80 - 89 点	A	A	3	到達目標を十分に達成している
	70 - 79 点	B	B	2	到達目標を達成している
	60 - 69 点	C	C	1	到達目標を最低限達成している
不合格	59 点以下	表示せず	F	0	到達目標を達成していない
	0		失格 ※1	0	欠席多数・不正行為 科目試験欠席 ※2
合格	-	認定	-	-	単位認定した評価 ※GPA の対象としない

※1 失格は、保健医療学部のみ適用

※2 履修規程第9条に定める事項以外で各期（前期・後期）3科目以上科目試験を受けなかった者は、当該学期の全ての科目を無効とし、失格とする。

## 【GPA】

GPA (Grade Point Average、グレード・ポイント・アベレージ) は、各科目の成績から特定の方式によって算出された学生の成績評価値のことです。

まず、各科目の6段階評価を、以下のように換算し合計します。

- S (90 - 100 点) 4
- A (80 - 89 点) 3
- B (70 - 79 点) 2
- C (60 - 69 点) 1
- F (59 点以下) 0
- 失格 0

それに各単位数を掛けて足した合計点を総単位数(履修登録単位の総数)で割ってスコア化するものです。この場合、オールSなら4.00、オールFなら0.00となります。

具体的な事例で説明します。下記の6科目で下記のような評価を得た場合、

情報処理学	2 単位	S
栄養学	2 単位	A
医の倫理	1 単位	S
スポーツ医学	1 単位	C
基礎解剖学	1 単位	F
内科学	2 単位	B

$$\frac{2 \times 4 + 2 \times 3 + 1 \times 4 + 1 \times 1 + 1 \times 0 + 2 \times 2}{2+2+1+1+1+2} = 2.55$$

これによって、履修した科目数に左右されずに、S、A、B、C、F、失格といった6段階評価では計れない、成績の評価が可能となります。

なお、平均点との違いは、平均点が科目の単位数に関係ないのに対して、GPAは科目の単位数を考慮して計算されることです。